

2022/12/19

JAWW CSW67に向けた勉強会

デジタル時代における ジェンダー平等の実現に向けて

(配布資料と発表用資料は若干異なります。入手希望の方は個別にご連絡ください)

東京大学情報学環 特任研究員

BeyondAI研究推進機構 B'AI グローバルフォーラム

博士(社会デザイン学)

佐野 敦子

sanoatsuko@iii.u-tokyo.ac.jp

前回の入門編の振り返り

デジタル×ジェンダーの論点整理

- デジタル×ジェンダーは内容が多岐に渡る。
- メリットもデメリットもある。これまでの課題も無関係ではない。潜在化していた課題も可視化される。

1. CSW67ではどこに主眼が置かれるか？

- 今回のCSW67のテーマに至る経緯を、北京行動綱領・SDGsから振り返る
- CSW62との比較から

2. 私たちはCSWをいかに日本の「イノベーション（革新）」につなげられるか？

- 現在の日本の施策と「イノベーション」
- AIとアンコンシャス・バイアスの強化—影響と低減のための課題／チャンスにもなるのか？

3. 私たちはどんな「イノベーション（革新）」を目指すのか？（質疑応答も兼ねて）

- <参考> ドイツの近年の動向
- 第3次男女平等報告書（デジタル社会における男女平等なチャンス）の提示
- 平等連邦研究所（Bundesstiftung Gleichstellung）の設立とタスク 等

1 CSW67の主眼は？

今回のテーマの経緯—北京行動綱領からSDG s から振り返る—

- ①「最新技術」を示す言葉の変化
- ② 目的と対象の拡大
- ③ イノベーション（革新）と教育の登場

【1995年】 北京行動綱領 Jメディア

戦略目標J. 1. メディア及び**新たな通信技術**における、またそれらを通じた表現及び意思決定への**女性の参加とアクセスを高めること**

【2003年】 CSW47 優先テーマ

メディア、情報、コミュニケーション技術（media, and information and communications technologies） への**女性の参加とアクセス及び女性の地位の向上とエンパワメントのための活用**とインパクト

【2015年】 SDG s 5.b

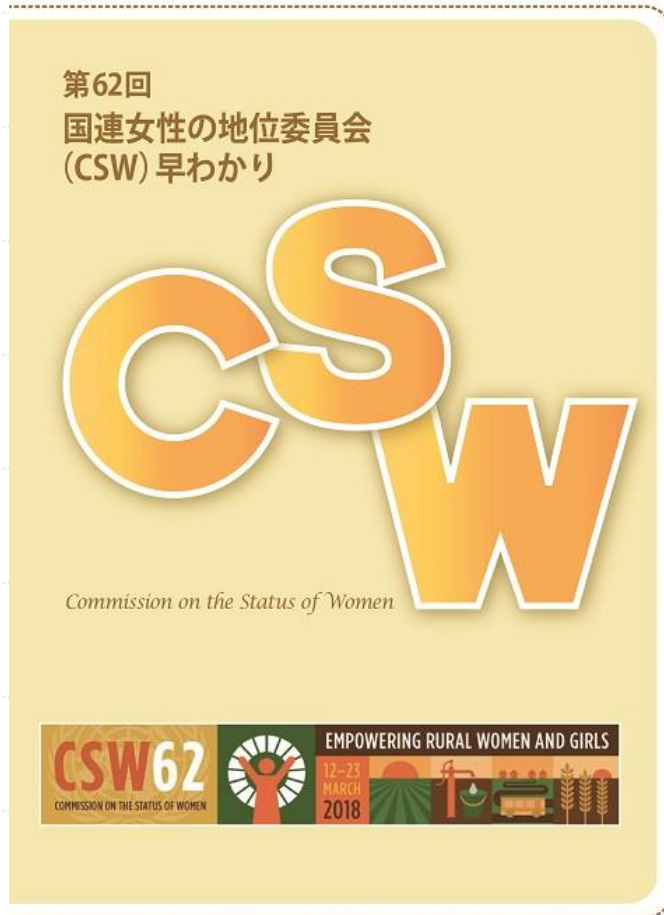
女性の能力強化（Empowerment）促進のため、**ICTをはじめとする実現技術**の活用を強化する（Enhance the use of enabling technology）。

【2018年】 CSW62 CSW47をふりかえるレビューテーマ

【2023年】 CSW67 優先テーマ

ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワメント達成のための**デジタル時代における革新、技術変革及び教育**

1 CSW67の主眼は？CSW62との比較から 優先テーマ(農山漁村女性のエンパワメント)×ICT



SDGsの17の目標とICTの活用が結びつけられる。

農山漁村女性のエンパワメントに寄与した好事例として、**モバイル・バンキングやオンラインでの起業情報の提供と女性起業家の支援**（≒ 1 貧困、9 技術革新、8 働きがい、10 不平等etc）があげられた。

幼少期から**コンピューターに触れる機会**を作り、**中等教育の現場にICTセンターを設置すること**（≒ 4 教育）が、都市部と農村部間の**デジタル格差解消**（≒ 10 不平等 11 まちづくり）に有効であるとの意見も出ています。

国立女性教育会館（2018）第62回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり
<https://www.nwec.jp/about/publish/2018/hqtuvq0000003wlq.html>

2022年10月に開催のExpert Group Meeting イノベーション（革新）と教育

2つのBackground Papers

- Alison Gillwald, Executive Director, **Research ICT Africa network**
「Assessing the gender dimensions of **digital inequality** for policy action」
- **Londa Schiebinger**, John L. Hinds Professor of History of Science; Director, **Gendered Innovations** in Science, Health & Medicine, Engineering, and Environment, Stanford University
Harnessing technology and **innovation in the digital** age to achieve gender equality and empower all women and girls

Gendered innovations

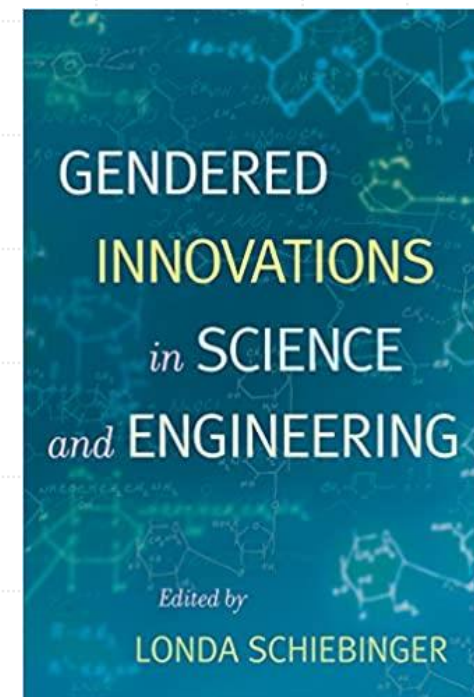
数・機関・知識の「見直し」 (FIX)

第6期科学技術・イノベーション基本計画にも入ったコンセプト



Prof. Ronda
Schiebinger

1. **"Fix the Numbers"** focuses on increasing women's and underrepresented groups' participation.
2. **"Fix the Institutions"** promotes inclusive equality in careers through structural change in research organizations (NSF; European Commission, 2011).
3. **"Fix the Knowledge" or "gendered innovations"** stimulates excellence in science and technology by integrating sex, gender, and intersectional analysis into research.



2 私たちはCSWをいかに日本の「イノベーション（革新）」につなげられるか？

第5次男女共同参画基本計画 ～ すべての女性が輝く令和の社会へ ～

〔令和2年12月25日
閣議決定〕

社会情勢の現状、予想される環境変化及び課題

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による女性への影響 | (5) デジタル化社会への対応 (Society 5.0) |
| (2) 人口減少社会の本格化と未婚・単独世帯の増加 | (6) 国内外で高まる女性に対する暴力根絶の社会運動 |
| (3) 人生100年時代の到来（女性の51.1%が90歳まで生存） | (7) 頻発する大規模災害（女性の視点からの防災） |
| (4) 法律・制度の整備（働き方改革等） | (8) ジェンダー平等に向けた世界的な潮流 |

基本的な方針 (5) デジタル社会への対応 (Society 5.0)

○蓄積されたビッグデータをAIが解析することで、マーケティングや営業・販売プロセス等で活用されるなど、デジタル技術は我々の生活に深く浸透しつつある。

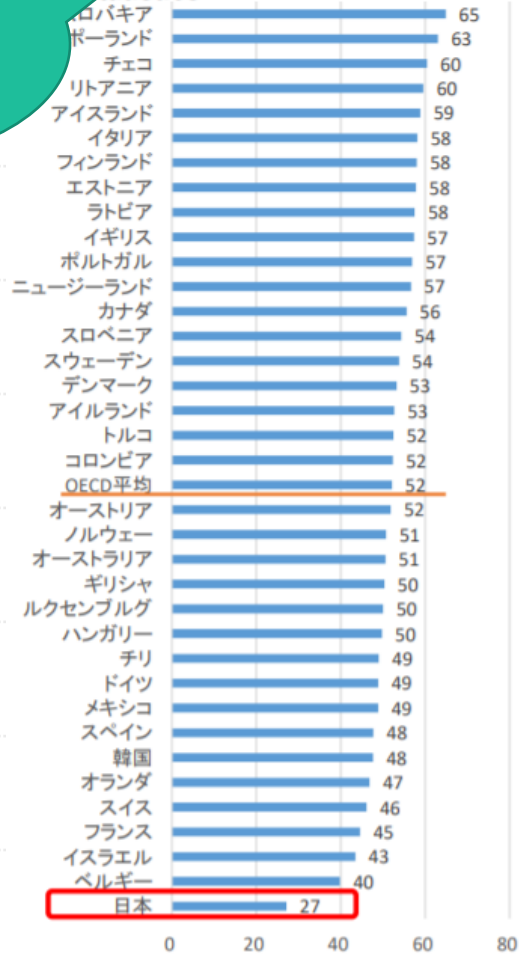
○さらに、**AIの短所に留意する必要がある**。中でも、AIの情報リソースとなる蓄積された過去のデータやアルゴリズム（コンピュータによる計算方法）にバイアスが含まれている場合があることを、開発者と利用者の双方が認識する必要がある。AIが過去を学習した上で解を導くに当たって、**これまでの男女の固定的な性別役割分担意識や性差に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を強める方向で使われる**ことの無いよう、男女が共に開発や利用に参画し、多様な視点でバイアスを改善することが重要である。

AIに関する記述のみを抜粋

計画実行・監視専門調査会（5次計画の実行の監視etc.）

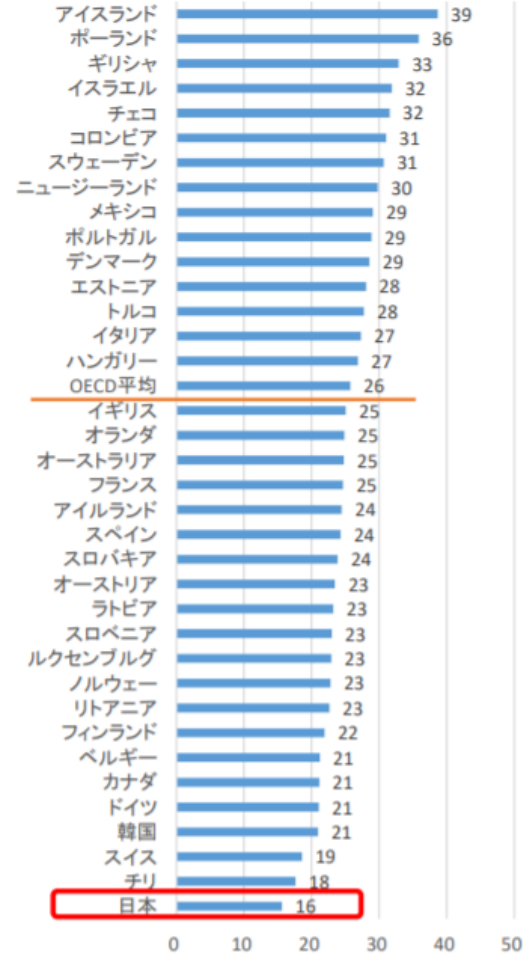
理学
自然科学・
数学・統計

Natural sciences, mathematics
and statistics



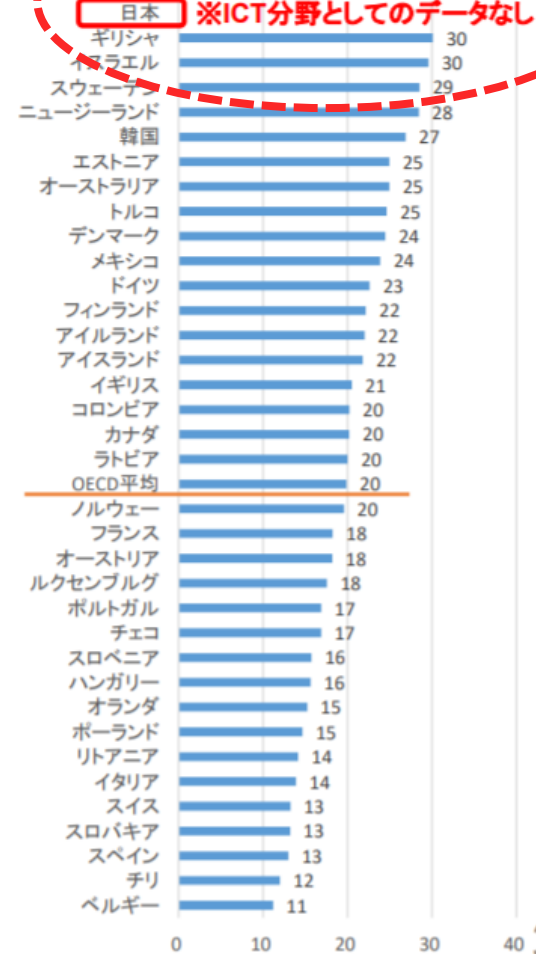
OECD2021 大学等入学者女性割合

Engineering, manufacturing and construction

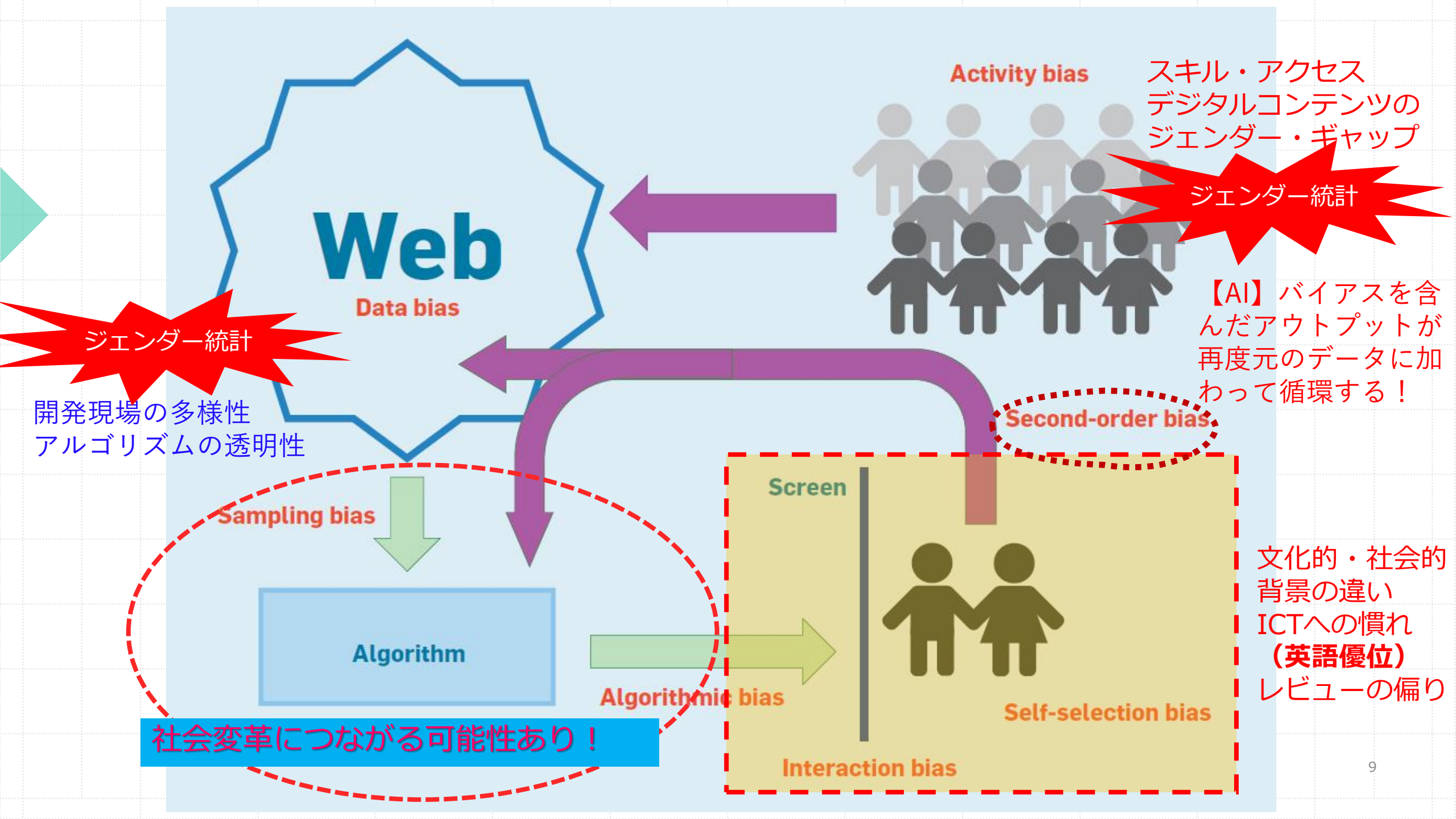


工学

Information and Communication
Technologies (ICTs)



※OECD.statより作成



3 私たちはどんな「イノベーション（変革）」を目指すのか？（講演後の次回に向けてのご意見）

- 女性センターなどで高齢者女性むけのデジタル研修などをしている人
- CSWと日本の「イノベーション」のところで、「労働・家事の補助・代替で生まれる余剰時間で、、、新事業創出に出力できる」という点には疑問符がつく、と佐野さんが言われていましたが、関連して、介護ロボットを導入して人手が楽になったら介護人員を減らす、というような方向に向かうことを危惧しています。
- デジタルハラスメントの実態や被害者保護に詳しい人／諸外国の規制・対策などを知りたい
- デジタル分野の雇用について語れる人。
- 今回は、社会の現実よりアカデミックよりの話が多かった。またデジタル技術の中ではICTが中心だった。具体的な人ではないが、これらをカバーできるものがよい。
- CSWではもっと幅広く語られると思いますので、次回は、今回提示して下さった論点に従ってもっと広い目で日本の課題を話すことも必要かと思います。
- 国際社会で、デジタル社会でのジェンダーギャップ改善の取り組みについて知見を持っている方／諸外国の動向を詳しく知りたい。

本日のパネルディスカッション

- 白藤香織さん 男女共同参画センター横浜北 館長
横浜市男女共同参画センターにおけるICTの実践
- 福田節也さん 国立社会保障・人口問題研究所企画部 第2室長
日本における無償労働の現在と未来： 家事・育児・介護の担い手は足りるのか？
- 佐野敦子 東京大学情報学環特任研究員 BeyondAI研究推進機構
元国立女性教育会館専門職員（eラーニング担当）
ドイツから考えるデジタル時代のジェンダー平等（入門編の続き）

立場やアプローチが異なる3名が、デジタル×ジェンダー平等について話す

多様な見方（Diversity&Inclusion）によって、デジタル時代の「イノベーション」につなげたい

4 ドイツの近年の動向

①経緯 女性団体からの要望が地道に反映されてきている。

ジェンダー視点からみたデジタル化への期待と課題の提示に成功

G20にあわせたWomen20開催／ポジションペーパー／男女平等報告書（政策提言）

②男女平等戦略 デジタル化の位置づけ・デジタル化を機に何をを目指すのかが明確

デジタル化×ジェンダーは、無償ケア労働と稼得労働のジェンダー平等達成の過程にすぎない

省庁横断的な取り組み

- ✓ 無償の家事労働（Unpaid care work）と稼得労働（Paid work）のライフコースの視点をふまえた男女平等
- ✓ 統一時からの課題であるジェンダー不平等の是正／デジタル時代でも追求する
- ✓ 家での家事との両立・精神的負担の軽減・社会保障を考慮したモバイルワーク規制等

③連邦平等基金の設立

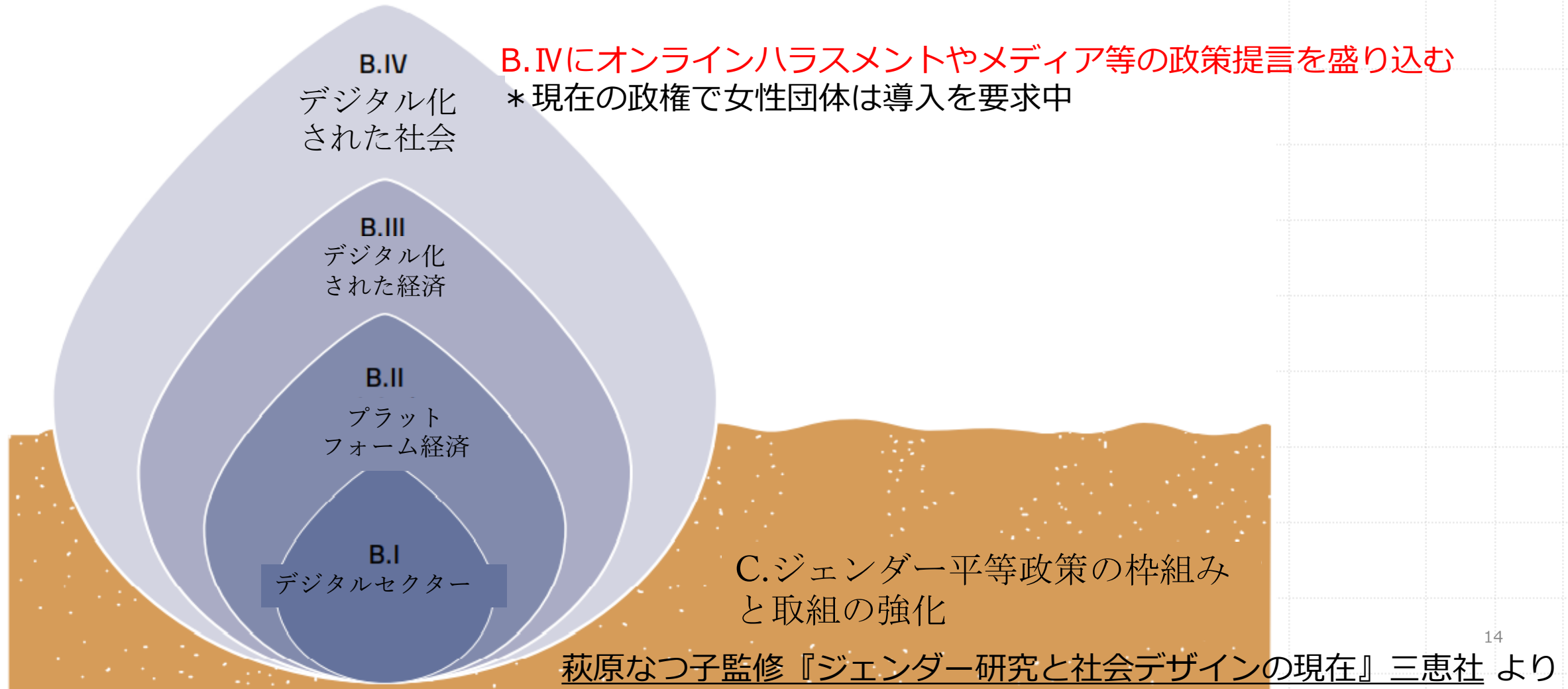
男女平等戦略で実現／次の男女平等報告書（政策提言）作成事務局／ネットワーク形成等の4つの柱

4 ドイツの近年の動向 ①経緯

年	出来事
2017年	G20に際して Women20 がドイツで開催 デジタル包摂 が柱のひとつに
2017年	第2次男女平等報告書 （≡識者による具体的な政策提言） 「 デジタル化 」にはじめて言及 * SAHGE（女性の割合が多い労働分野）の概念の提唱 *
2017年－19年	女性協議会（女性団体のロビイング団体） 主導でワークショップ開催
2019年	ワークショップをもとにしたポジションペーパーを提示 * 教育・労働・ デジタル空間のコミュニケーション の3カテゴリー 「未来をつくる－ デジタル変容 をジェンダーに公正な方向に」
2019年	第3次男女平等報告書「 デジタル経済 における男女のチャンス」作成開始
2021年7月	男女平等戦略（日本の男女共同参画基本計画にあたる）提示 「 デジタル世界 でも男女平等を標準化する」が入る
2021年6月	第3次男女平等報告書 提示
2021年12月	ジェンダー平等× デジタル化 推進に積極的な新政権誕生 * 女性協議会は第3次男女平等報告書の提言実施を主張

4 ドイツの近年の動向

第3次男女平等報告書「デジタル経済をジェンダー平等に」



4 ドイツの近年の動向

連邦初の男女平等戦略（日本の男女共同参画基本計画にあたる）

I 稼得労働と無償のケアワークの平等な「分担（Aufteilung）」	
目標1	経済的自立をすべての人に
目標2	ケアの専門職（SAHGE）を魅力的なキャリアパスに
目標3	デジタル世界でも男女同権を標準化する ※含起業の女性割合
目標4	稼得労働と無償のケアワークの新たな構築
II 経済分野・社会の平等な「参加（Teilhabe）」	
目標5	リーダー層にもっと多くの女性を
目標6	民主主義への平等な参加
目標7	文化と学問のステレオタイプの撤廃
III 政策・行政の男女平等「参加（Teilhabe）」	
目標8	行政機関の平等な「参加（Teilhabe）」
目標9	ジェンダー平等を政府全体のタスクに

4 ドイツの近年の動向

連邦平等基金 2021年5月～ 男女平等戦略で実現

- アカデミックな知見をもとに（第2次男女平等報告書）
- デジタル部門もこれからつくる可能性あり
- 次の男女平等報告書（政策提言）作成事務局／ネットワーク形成等の4つの柱

Mehr Wissen	Informationen bereitstellen	+
Mehr Aktion	die Praxis stärken	+
Mehr Innovation	neue Ideen entwickeln	+
Offenes Haus	ein Wissens- und Vernetzungsort für Gleichstellung sein	+

情報提供
（調査推進・情報拡散）
※統計も入る？

実践例

新しい試み・アイデアの発展

オープンハウス
知見とネットワーク形成

本日のパネルディスカッション

- 白藤香織さん 現場での実践
- 福田節也さん 社会人口学・統計・テクノロジーと無償労働
- 佐野敦子 AIと社会・ドイツのジェンダー平等施策とデジタル変容の関わり

デジタル×ジェンダーに対して、立場やアプローチが異なる3名

イノベーション・新しいアイデアの発展は、

- ✓ 多様な見方（Diversity&Inclusion）によってもたらされる
- ✓ それまで見過ごされてきた視点の再発見

まず、3人それぞれが互いの発表にどのような感想をシェアするところから、
議論を始めたいと思います